

～城下町を調べよう～

年 組 名 前

江戸時代に、出雲国は松江藩として、当初は堀尾氏、次いで京極氏、1638年からは松平氏が治めました。松江には、城下町が整備されていきました。

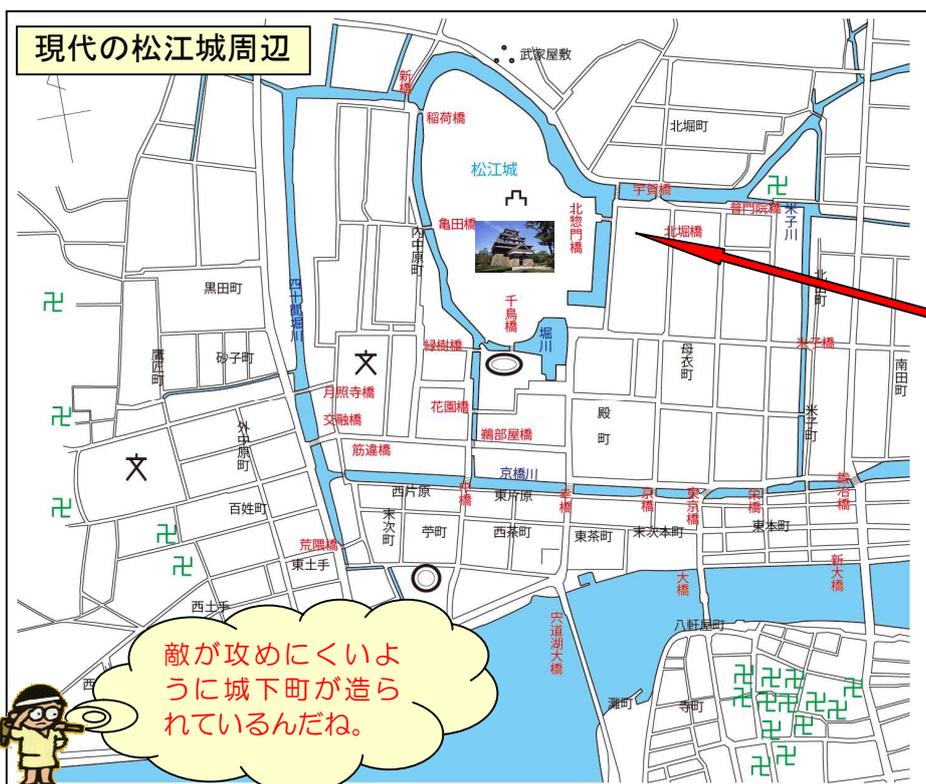
challenge

① 下の地図は、江戸時代と現代の、松江城周辺の地図です。2つを比べて気がついたことを書きましょう。



(江戸時代の視点で)

- 堀川の幅が広い。
- 橋が少ない。
- 寺が集まっている。
- 武士の家が城を取り囲んでいる。
- 武士の家が多い。
- 町人と武士の住む所が分かれている。
- 穴道湖の近くに町人の町がある。
- 品物と関係する町名がある。
- 「木実方」「御金蔵」などの施設がある。



江戸時代の家老屋敷の跡から、石の列や、大量の陶磁器や土器、木製品が見つかりました。